2023年度

通常総会資料

日　　時：2023年6月19日(月)　　15時～

場　　所：仙台市中小企業活性化センター　6階　ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ(1)AB

一般社団法人日本コンストラクション・マネジメント協会

東北支部

一般社団法人日本コンストラクション・マネジメント協会　東北支部

2023年度　通常総会

次　　　第

【第１部】通常総会　(15時00分~15時45分)

開会の辞
支部長挨拶
議長選出
議　　事

第１号報告　２０２２年度の活動報告、収支報告及び監査報告

（１）	２０２２年度の活動報告	2頁　～　3頁
（２）	２０２２年度の収支決算報告	4頁　～　5頁
（３）	２０２２年度の監査報告	6頁

第２号報告　２０２３年度の事業計画及び収支予算

（１）	２０２３年度の事業計画	7頁　～　9頁
（２）	２０２３年度の収支予算	10頁

第１号議案　２０２３年度の支部役員補選　11頁

報告事項・その他
「２０２２年度支部普及活動の報告」

閉会の辞

・・・15分休憩・・・

【第２部】記念講演会　(16時00分~17時30分)

支部長挨拶

演　　題『東北地方から始まった！新たな発注方式の流れ』

講　師：村田　達志　様

(株式会社山下PMC　取締役専務執行役員)

質疑・応答

・・・20分休憩・・・

【第３部】情報交歓会　(17時50分~19時00分)

第１号報告　(1)2022年度の活動報告

【活動報告】

活動方針に基づき今年度もリモート幹事会やハイブリット講演会開催と積極的に活動した。「CM普及活動」を第一の目標と掲げ、支部相談窓口を設置したことを会員に周知した。３カ年計画の１年目にあたる2022年は、まだまだ浸透されていない東北６県の県、主要な自治体をピンポイントに県担当幹事と一緒に活動した結果、いくつかの自治体より相談を受ける事ができた。様々な面で試行錯誤しながら透明性を基本とし活動してきたが、十分な手応えを感じると共に２年目の課題も見えてきた。

1)東北支部通常総会　2022年６月29日(水)　参加人数を限定しWEB配信の実施

第１号報告：2021年度の活動報告・収支決算及び監査報告

第２号報告：2022年度の事業計画・収支予算

第１号議案：支部役員の選任

報告事項：支部相談窓口設立の報告

記念講演会　「これからの東北でのCM普及について」

講師：濱尾　博文　(東北支部長)

☆参加者：総会　会場９名+WEB3名(委任状13名)　　講演会　会場９名＋WEB3名

2)講演会

東北６県中CM方式採用の実績が無いのは青森県のみなので昨年に続き「青森講演会」を継続開催とした。今後の採用を目指し、受注者側の人材を育成するためにも設計事務所等からの参加を積極的に呼びかける活動を行った。

○「青森講演会」　2022年11月28日(月)　参加型＋WEB配信

第１部　演題：「全国のCM方式普及と東北の現状」

講師：濱尾　博文　(東北支部　支部長)

第２部　演題：「なぜ地方自治体にCM方式が必要なのか

講師：濱尾　博文　(東北支部長)、木皿　泉(東北副支部長)、髙野　大地(東北副支部長)

☆参加者：45名+新聞社１社　(WEB参加者含む)

○「公共CM活用セミナー（仙台)」　2023年１月30日(月)　参加型＋WEB配信

第１部　演題：「CM方式に関わる国土交通省の取組み」

講師：津國　眞明様　(国土交通省不動産・建設経済局　建設業課　入札制度企画指導室　課長補佐)

第２部　演題：「米沢市新庁舎建設プロジェクト」

講師：木内　芳夫様　(明豊ファシリティワークス株式会社 PM本部　ｼﾆｱｴｷｽﾊﾟｰﾄ)

第３部　演題：「ふたば医療センター付属病院プロジェクト」

講師：濱田　徹様　(株式会社プラスPM　ﾁｰﾌﾏﾈｰｼﾞｬｰ)

☆参加者：79名+新聞社１社　(WEB参加者含む)

3)CM普及活動の報告

普及活動年間スケジュールに沿って、前半は、東北６県の県庁・主要な自治体を各１巡することができた。後半は、発注先となる自治体から相談を受け、支部相談窓口業務として各県担当が対応に当たり、次年度のＣＭ業務発注の予算化に貢献することができた。

・特定案件の相談に繋がった県･･･青森県・岩手県・福島県

・今後、特定案件の相談に繋がりそうな県･･･宮城県

・普及活動に時間を要しそうな県･･･秋田県・山形県

秋田・山形は担当幹事がいないことも要因であり、岩手も今後課題となる地域。各県の普及活動において担当幹事の協力の必要性を感じた。

第1号報告　(1)2022年度の活動報告

4)幹事会の開催

計画では6回の開催予定であったが、そのほかに臨時幹事会として3回、計9回を開催。普及活動の報告をその都度行い、幹事間で共有してきた。しかし、東北6県を限なく支部活動を展開するには、各県最低でも幹事1名を選出する必要性が再認識され、全幹事が支部活動に参画するよう役割分担するなど、支部幹事会組織体制の見直しを次年度で実施することとなった。

一般社団法人日本コンストラクション・マネジメント協会　東北支部

貸 借 対 照 表

＜2023年3月31日 現在＞

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現　　金	10,523	未　払　金	0
普 通 預 金	193,352		
未 収 入 金	0		
前 払 費 用	29,700		
仮　払　金	255		
		固定負債	0
流動資産合計	233,830	負債合計	0
固定資産		正味財産の部	
		正味財産	
		当期正味財産増加	−188,536
		前期繰越正味財産	422,366
固定資産合計	0	正味財産合計	233,830
合　　計	233,830	合　　計	233,830

第1号報告　(2)2022年度の収支決算報告

一般社団法人日本コンストラクション･マネジメント協会　東北支部

収支決算書

＜自2022年4月1日至2023年3月31日＞

Ⅰ. 収入の部

	2022年度予算	2022年度決算	増　減
会議等参加費収入	300,000	54,000	−246,000
1) 東北支部総会	100,000	0	−100,000
2) 講演会参加費	200,000	54,000	−146,000
支部活動費収入	2,622,000	1,606,000	−1,016,000
（本部事務局より）			
1) 支部交付金	590,000	590,000	0
2) 支部普及活動助成金	2,032,000	1,016,000	−1,016,000
受取利息	0	10	10
（七十七銀行）			
雑収入	0	0	0
当期収入合計(A)	2,922,000	1,660,010	−1,261,990
前期繰越収支差額	422,366	422,366	0
収入合計(B)	3,344,366	2,082,376	−1,261,990

Ⅱ. 支出の部

	2022年度予算	2022年度決算	増　減
会議費	20,000	496	−19,504
通信費	110,000	122,201	12,201
会場費	80,000	95,070	15,070
消耗品費	120,000	135,182	15,182
旅費交通費	120,000	118,980	−1,020
家賃	356,000	356,400	400
水道光熱費	40,000	52,382	12,382
支払手数料	2,000	10,640	8,640
諸謝金（接待交際費含む）	20,000	6,480	−13,520
雑支出	10,000	4,710	−5,290
諸会費	12,000	12,000	0
支部普及活動支出	2,032,000	934,005	−1,097,995
当期支出合計(C)	2,922,000	1,848,546	−1,073,454

Ⅲ. 収支差額

当期収支差額 (A)−(C)	0	−188,536	−188,536
次期繰越収支差額 (B)−(C)	422,366	233,830	−188,536

第1号報告　(3)2022年度の監査報告

監　査　報　告　書

一般社団法人日本ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ協会
東北支部　支部長　濱　尾　博　文　殿

2023年5月16日
一般社団法人日本ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ協会
東北支部

監　査　神部禎三　㊞

私は、2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度における会計の監査を行い、次のとおり報告する。

1.　監査方法の概要

会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討した。

2.　監査意見

収支決算書、貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、東北支部の収支および財産の状況を正しく示していると認める。

以　上

第2号報告　(1)2023年度の事業計画

【2023年度の事業計画】

1)活動方針　(3カ年中期計画の2年目)

「地域と寄り添う普及活動の更なる推進!」

①ＣＭ案件を創出する

②ＣＭ人材を育成する

③ＣＭ相談窓口を運用する

※2022年度普及活動の評価を行い、新たに見つかった課題に対する戦略の見直しや行動計画を立案したい。

2)活動計画

①ＣＭ案件を創出する【発注者側への普及活動】

(1)東北6県の主要自治体への普及活動

①各県庁+県庁所在地の市役所

②特定計画案件情報がありＣＭ導入の可能性がある自治体

※継続的な情報収集とＰＲ活動

③技術者が不在又は不足している自治体

→各県2回(上半期1回+下半期1回)

※2回目の訪問未実施、秋田・山形ＰＲ方法の再考

→各県担当者+支部長・副支部長から2名

(2)東北6県の主要民間企業への普及活動　(2023年度の実施目標)

①特定計画案件情報がありＣＭ導入の可能性がある民間企業

②公共性が高い民間企業・私立学校法人・医療福祉法人・金融機関等

③支部相談窓口へ寄せられる案件に対するフォローアップ

※民間病院の再編計画が活発であり、ＣＭ方式のＰＲのチャンス

(3)東北6県の建築関係機関との情報交換もしくは連携（2024年度の実施目標)

①行政が発注について相談している関係機関

:宮城県→住宅センター

:山形県→県技術センター

:福島県→福島県市町村支援機構

:青森県→県技術センター

:秋田県→県技術センター

:岩手県→県建設業技術者センター

②建築関連団体

:県建築士会

:県建築士事務所協会

:日本建築家協会東北支部

:日本建築積算協会東北支部

:日本建築構造技術者協会東北支部

※関連団体と連携した活動計画か手付かずの状況であり、特に積算協会との個別の協議を本年度に実施したい。

(4)本部普及委員会主催・行政担当者向けＣＭ普及セミナーのＰＲ活動
※2022 年度実施の本部連携セミナー(仙台市)の経験を踏まえた事業の継続
①東北 6 県発注関係組織へのセミナー紹介・参加勧誘
②本部委員会と連携した参加者名簿の整理とフォローアップ
③一昨年・昨年度の体験(青森県後援)を踏まえ、本年度は秋田県を重点地域としてＰＲ活動を行う。

②ＣＭ人材を育成する【受注者側への普及活動】

(1) ＣＭセミナーの開催
①本部主催のＣＭスクール・ＣＭセミナー(ＷＥＢ配信)と連携した支部の普及活動・フォローアップ事業の実施
②支部独自の普及セミナーを計画(全国版ＷＥＢ配信をチャレンジする)
※青森セミナー(11 月)の振り返りと秋田セミナーの計画

(2) 会員企業への普及活動　(2023 年度の実施重点目標)
①プライベートセミナー・レクチャーの実施
②支部所属会員メリットの提供(案件情報の提供・ネットワーキング等の構築)
③ＣＭ未経験者への支援・協働(ＪＶ等)
※東北支部独自の会員リストの充実(一級建築士、ＣＭＡＪ資格者名簿、ＣＭ業務受託意思の確認等)と、発注者への情報提供
※30～40 歳代世代の会員へのアプローチ、または会員企業案内の若手・担い手となる人材の発掘

(3) 非会員企業への普及活動
①プライベートセミナー・レクチャーの実施
②ＣＭ協会の紹介と新規会員への勧誘

(4) 大学専門学科への普及活動
①担当教職への訪問説明→教職員のＣＭへの理解と就職口としての将来性
②学生向けレクチャー提供→就活にも知識としてプラスになることを強調
※学生に対するＣＭ資格試験のＰＲとＡＣＣＭＪ受験の勧誘(試験案内ポスターの配布等)
〈候補〉 東北 6 県の建築系コースがある大学
青森県：八戸工大
宮城県：東北大、宮城大、東北工大、東北学院大、東北文化学園大、宮城学院女子大
秋田県：秋田県立大
山形県：山形大、東北芸術工科大
福島県：日大工学部、郡山女子大建築デザイン学科

(5) ＣＭ有資格者の確保
①受験者増加に向けた取り組み→会員や各種建築団体、学校等への周知
②勉強会の実施→合格するための支援・取り組みも必要
③ＣＣＭＪ資格試験への協力と受験案内・広報活動
※東北支部として受験者へのフォローアップを行ってもよいのではないか。

(6) 積算協会東北支部との連携
①共同事業へのプラットフォームの設置(可能性の検討)

②社会的役割と将来の方向性の相互理解
③建設コストに関する課題の抽出と研究
※建設物価急騰をテーマとした情報交換会、セミナーの開催

③ＣＭ相談窓口を運用する【発注者・受注者両方への普及活動】

(1) 東北支部ＣＭ相談窓口の設置
①相談窓口のＰＲ・広報作成
②相談案件の幹事間協議(その都度)
③相談案件のフォローアップ
※東北６県の案件情報の共有と協会としての相談窓口ＰＲ活動の継続

(2) 相談窓口の運用
①事務局体制のあり方・案件管理方法
②実費、経費の予算化
③情報の管理、運用方法を確立
※東北支部会員リスト(一級建築士、ＣＭＡＪ資格者名簿、ＣＭ業務実績等)の発注者への情報提供
※相談業務の情報管理と会員に公平な情報提供方法の検討と実施

一般社団法人日本コンストラクション・マネジメント協会　東北支部

2023年度収支予算

収入の部		支出の部		備考
前年度繰越正味財産	233,830	会議費	20,000	主として幹事会はWEB会議
		通信費	110,000	電話代他　月/7,500×12ヶ月=¥90,000 切手代¥20,000
		会場費	100,000	支部総会・新春講演会=¥40,000　地方講演会=¥40,000 勉強会等=￥20,000
		消耗備品費	120,000	用紙代他¥20,000　講演資料カウンター代¥100,000
会議等参加費収入	300,000	旅費交通費	120,000	支部長・本部総会等旅費=¥17,000　講演会講師旅費=¥75,000　幹事予備費=¥28,000
1）東北支部総会	100,000	家賃	356,000	月/¥29,700×12ヶ月　(下3ケタ切)
2）講演会参加費	200,000	水道光熱費	100,000	2ヶ月/¥16,700×6ヶ月　(下3ケタ切)
		支払手数料	6,000	振込手数料
		諸謝金	20,000	講師御礼手土産など
支部活動費収入	2,174,000	諸会費	12,000	
（本部事務局より）		雑支出	10,000	
1）支部交付金	674,000	支部普及活動支出		
2）支部普及活動助成金	1,500,000	1）人件費・旅費	1,350,000	
		2）諸経費	150,000	
受取利息	0	次期繰越収支差額	233,830	
「収入の部」合計	2,707,830	「支出の部」合計	2,707,830	

2023年度　東北支部役員(案)

（敬称略　幹事50音順）

役職名	氏　　名	所	属
支部長	濱尾　博文	エーユーエム構造設計(株)	代表取締役
副支部長	木皿　泉	(株)関・空間設計	代表取締役
副支部長	髙野　大地	髙野大地建築企画	代表
幹　事	加藤　彰	(株)カトー建築設計事務所	代表取締役
幹　事	木村　清且	(株)木村設計Ａ・Ｔ	取締役会長
幹　事	髙橋　敏朗	(株)ＮＴＴファシリティーズ　東北支店	ﾌｧｼﾘﾃｨ事業部　ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ&ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ部　ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ担当
幹　事	平山　浩史	大成建設(株)　東北支店	設計部　部長
監　査	田中　幸吉	(株)田中建築設計事務所	代表取締役
事務局長	松井　裕司	東開クレテック(株)	営業推進部　担当部長

支部規定　支部長＝1名　　副支部長＝3名以内

幹事＝８名以上１５名以内（支部長・副支部長含む）　　監査＝２名以内

◎退　任

支部発展のために長年に亘り、副支部長・監査としてご支援・ご協力を賜りました神部禎三様心より感謝御礼申し上げます。大変お疲れさまでした。

[第2部]　記念講演会詳細

□開　　　会

□支部長挨拶

(一社)日本コンストラクション・マネジメント協会　　　東北支部長　濱尾　博文

□演　　　題『東北地方から始まった! 新たな発注方式の流れ』

講　師：村田　達志　様

(株式会社山下PMC取締役専務執行役員)

【講演内容紹介】

1. 民間事業でのCMの広がりとCM市場規模
2. 公共事業でのCMの広がり　　　　　3. CM普及の経緯　まとめ
4. 事例紹介　①石巻卸売市場　(アットリスクCM方式)
　　　　　　②女川町卸売市場　(ECI方式)

【ポイント】

□民間事業でのCM活用が今どのような状況で、CM市場は土の程度形成されているか。

□公共事業でどのようにCMが広がり、国交省等でどのような取り組みがなされているか。

□震災復興事業である石巻・女川の卸売市場復興に新しい発注方式が採用された。その背景や成果などについてご紹介する。また、それらの方式メリット、デメリットについての考察を踏まえて、建設プロジェクトの発注方式の今後の在り方について考えていきたい。

【講師プロフィール】

2002年　京都大学大学院工学研究科建築学専攻修了

2002年　株式会社山下設計入社　(株式会社山下PMC出向)

2010年　株式会社山下PMC入社　現在に至る

2010年頃までは民間案件を中心に超高層大型複合施設や研究施設、データセンター等のCM業務に従事。公共事業としては足立区の小学校改築プロジェクトでのCMRを担当。

その後、東北大震災の復興の頃から公共事業におけるCM業務が中心となり、石巻や女川の卸売市場をはじめ全国の庁舎、学校、競技場、アリーナ等、様々なプロジェクトに関与。

□質疑応答

□アンケート記入

□閉　　　会

不動産管理・建設工事などの
プロジェクトマネジメントに活用できる資格

2023年度
認定コンストラクション・マネジャー資格試験
CCMJ・ACCMJ

全ての都道府県で実施！

CBT試験（Computer Based Testing）を導入しています。
試験会場（テストセンター）のパソコンを使用して受験する試験です。
受験のお申し込み時に、**希望する試験日時**と、
全国**47**都道府県の約**300**箇所から試験会場を選択することができます。

試験日時

知識試験（120分）
8月19日（土）～8月27日（日）
10:00～17:00
▲希望の試験会場別日時を選択

能力試験（120分）
9月3日（日）10:00～12:00
9月3日（日）12:30～14:30
▲いずれかの試験時間を選択

試験会場
全国47都道府県約300箇所にあるテストセンターから選択

受験案内
5月中旬　協会ホームページに掲載

試験申込
6月1日（木）～7月31日（月）協会ホームページにて受付
専用サイトからマイページ登録にて申込

受験料

	会員	非会員
CCMJ	22,000円	27,500円
ACCMJ	8,800円	11,000円

（消費税込）

※2018年度の受験料減額及び受験要件の緩和を継続しています！

詳細は協会HPにて
www.cmaj.org

一般社団法人日本コンストラクション・マネジメント協会
〒108－0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館6階

Construction Management Association of Japan

受験区分

CCMJ：

建設のプロフェッショナルとしての経験を有する者に対して、知識試験と能力試験を実施して、CM業務をなしうる者を合格とします。

ACCMJ合格後5年以内の受験者は、能力試験のみで受験できます。

ACCMJ：

CCMJ と同様の知識試験を実施して、CM 業務を行うために必要な知識を有する者を合格とします。

受験要件

CCMJ　：建設プロジェクトに関わる3年の実務経験を有する方。

ACCMJ：必要な実務経験は問いません。どなたでも受験できます。

受験料

受験料（消費税込）：

一般	CCMJ	（会員）¥22,000	（非会員）¥27,500
	CCMJ能力試験のみ	（会員）¥15,400	（非会員）¥19,800
	ACCMJ	（会員）¥ 8,800	（非会員）¥11,000
学生	CCMJ	（会員）¥19,800	（非会員）¥24,750
	CCMJ能力試験のみ	（会員）¥13,860	（非会員）¥17,820
	ACCMJ	（会員）¥ 7,920	（非会員）¥ 9,900

※1.ACCMJ合格後5年以内のCCMJ受験者は、能力試験のみの受験料です。

※2.団体会員に加入している会社等に所属する受験者は、会員扱いとなります。

過去問題

過去に実施した「認定コンストラクション・マネジャー資格試験」についての実施状況（合格者数・試験問題等）については、日本CM協会が発行している機関誌CMAJのバックナンバーに掲載しております。

日本CM協会会員はホームページにログインすることで機関誌のバックナンバーを閲覧することができます。

機関紙のバックナンバーは協会HPにて販売しております。

CMガイドブック集中講座

CMガイドブック集中講座は、これからCMに取り組もうと考えている方を対象としており、CMに関わる人材の育成・技術向上を目指しております。

また、認定コンストラクション・マネジャー（CCMJ）資格試験に挑戦しようとする方の知識の整理や、問題解決能力の向上にも役立つ内容になっています。

知　識　編：講義動画をオンデマンド配信します。
問題解決編：リアルタイムでのオンライン開催をします。
開催日など詳細が決まりしだい、HPにてご案内いたします。

CMガイドブック第3版

CMrを目指す人にとっての必読書！！

- 建設にかかわるすべての人に
- コンストラクション・マネジメントのすべてがわかる
- 認定CMr試験問題に対応

¥7,150（消費税込）
購入方法　：　協会HPの出版物からお申込みください。
発行：一般社団法人　日本コンストラクション・マネジメント協会